



Harmony

～一人一人が^{かがや}輝いて～

東広島市立原小学校

第5学年 学級通信

令和5年 11月 7日

道徳参観日 ありがとうございます

11月1日の5校時に道徳参観日がありました。5年生は、「クマのあたりまえ」という話から、命について考えました。

「クマのあたりまえ」というお話は、1匹の子グマが、森の中で知り合いのお年寄りのクマが亡くなっている姿を見つけることから始まり、「自分もそうになってしまうのでは…」という不安や恐怖などから思いを巡らせ、「死なないもの(石)になりたい」と考えます。しかし、石は「歌わない」「つぶやかない」「泣かない」「人に会いたいと思わない」と言われ、子グマは、そんな石になっていくことは悲しい、寂しいと思うようになります。

そして最後に、子グマは、「石になるのはやめとくよ。死ぬのは今でもこわいけど、それでもクマのほうがいいってわかったんだ。」と石に向かってつぶやくというお話です。

授業を終えた子ども達は、次のようなことを考えていました。

- ・ 生きているからこそ、「うれしい」「楽しい」と感じるができると思った。
- ・ 生きているからこそ、食べ物を味わうことができる。
- ・ 生きているからこそ、命や自然の大切さを学ぶことができる。
- ・ 楽しんだり、怒ったり、うれしかったり、悲しんだりして、いろんな感情がたくさんあって命がある。

私たちが日々過ごしている「当たり前だ」と感じるものが、実は生きていくうえで大切なことだということを感じていました。

